

8) 福祉栄養（児童）分野

福祉栄養（児童）（項目番号：FG21-102~103）

科目名	身体活動基準の理解と活用	単位数	講義 2 単位
【目標】 健康づくりのための身体活動基準・指針を理解し活用できる。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG21-105~108）

科目名	スポーツ栄養	単位数	講義 4 単位
【目標】 公認スポーツ栄養士の役割と活用を理解するとともにスポーツ栄養学について理解を深め、活用する。 【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS21）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-112、FG23-212）

科目名	食物アレルギー（乳幼児期）	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」及び食物アレルギーの最新情報を理解し活用できる。成長・発達・生活に応じた適切な個別指導計画（緊急時の対応を含む）を家庭と一体となり実践できる。 【講義内容】 ・ 食物アレルギーの最新情報 ・ 「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」と活用 ・ 代替食の考え方 ・ 摂食・誤食防止への対応 【演習】 誤食時の対応（エピペンの使用について）、事例に基づく討議			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-113、FG23-213）

科目名	授乳・離乳の支援ガイド	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 「授乳・離乳の支援ガイド」を理解し、成長・発達・生活に応じた、適切な栄養の指導ができる。母子手帳を活用し、家庭と一体となった離乳支援が実践でき、保護者の相談に応じることで、子育てを支援することができる。 【講義内容】 ・ 「授乳・離乳の支援ガイド」 ・ 授乳・離乳に関する現状と課題 ・ 母子手帳の活用 【演習】 事例に基づき離乳の進め方の事例検討			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-114）

科目名	小児の発育・発達	単位数	講義 3 単位
【目標】 子どもの発育・発達、年齢（月齢）における特徴、精神的発達の特徴を理解し、一人ひとりの発育・発達を踏まえた「栄養の指導」をすることができる。			

【講義内容】

- ・ 子どもの発育・発達
- ・ 精神的発達の特徴の理解
- ・ 子どもの特徴を把握した指導

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-115）

科目名	小児の栄養	単位数	講義 3 単位
【目標】 小児の疾患と病態栄養、栄養療法について理解し、効果的な「栄養の指導」を実践することができる。			
【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消化器疾患（嘔吐、下痢、便秘） ・ その他の小児疾患 ・ 肥満、痩せ 			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG23-118、FG23-218）

科目名	摂食・嚥下機能	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 摂食・嚥下機能の未発達と変化、原因疾患による機能の特徴、口腔内ケアの必要性、摂食・嚥下障害者への食事支援方法について理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。			
【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS23）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG25-102）

科目名	栄養教育のための栄養生理	単位数	講義 3 単位
【目標】 栄養素の代謝に基づいて、食育のための指導資料の作成や児童生徒一人ひとりに応じた栄養食事指導ができる。			
【講義内容】 学校栄養（G25）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FS30-102）

科目名	障がい特性	単位数	講義 1 単位
【目標】 身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病などの特性を理解し、多職種と連携し一人ひとりに適した「栄養の指導」を実践できる。			
【講義内容】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS30）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG35-102）

科目名	食材料管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食管理施設の食材管理についてのノウハウを学び、実践できる。			
【講義内容】 給食管理（K35）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG37-101）

科目名	衛生管理	単位数	講義 2 単位
【目標】 給食運営施設における衛生管理基準を理解し、発生する食品衛生危害に対する迅速な対応を習得し、実践できる。 【講義内容】 給食管理（K37）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG44-102）

科目名	栄養診断	単位数	講義 1 単位
【目標】 発育測定等でのデータや成長曲線作成、食事摂取状況などから個々の児童生徒の発達について総合的に栄養診断ができる。 【講義内容】 学校栄養（G44）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG45-108、FG45-208）

科目名	非経口栄養補給法	単位数	講義 2 単位 演習 1 単位
【目標】 胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法を理解した上で、病態、対象者の生活に応じた栄養補給法について提案でき、多職種と連携し、病態、症状、生活に応じた「栄養の指導」ができる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS45）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-103）

科目名	個別指導計画の作成	単位数	講義 1 単位
【目標】 児童福祉施設で作成している保育計画・指導計画を学び、利用者の状況に応じた個別指導計画の作成を理解し、実践、評価することができる。 【講義内容】 ・施設の保育計画に基づいた個別指導計画の作成 ・個別指導計画の評価			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-104、FG46-204）

科目名	栄養ケアプランの作成	単位数	講義 3 単位 演習 4 単位
【目標】 ①介護保険施設や障害者（児）施設の利用者、および在宅の要支援・要介護高齢者や障害者（児）に必要とされる栄養ケアプランを理解できる。 ②施設ケアプランと一体的に提供できる栄養ケアプランを理解し、利用者の状況に応じた適切な栄養ケアプランを作成、実践、評価することができる。 【講義内容】【演習】 福祉栄養（高齢者・障がい者）（FS46）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-109）

科目名	個別指導（食事指導・食事管理）	単位数	講義 3 単位
【目標】 「子どもの食事指導、支援プログラム」を使用した個別指導の実際について習得し、実践できる。 【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-111）

科目名	食育のための行動科学	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 児童生徒が自己効力感を高め、生涯における健康づくりに結びつけることができるように行動科学を活用し、食育を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G46）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG46-113、FG46-213）

科目名	対人関係スキル	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 対人関係のスキルを学ぶことにより、多職種と協働して、より良いケアプランを作成、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 福祉栄養（FS46）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-101、FG47-201）

科目名	対象者に合わせた効果的な情報提供方法	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 食に関する指導を行う上で、指導内容が効果的に対象者に伝わるような方法を習得し、実践できる。</p> <p>【講義内容】【演習】 学校栄養（G47）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-102）

科目名	集団栄養指導	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 学級・学年・全校集会・保護者対象等、食育を行う集団に合わせた指導について理解し、計画立案、教材作成、指導を行うことができる。</p> <p>【講義内容】 学校栄養（G47）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-105）

科目名	食育の計画の評価	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①児童福祉施設の理念、方針、保育課程に位置づく「食育の計画」の必要性を確認し、食育の視点を含めた「食育の計画」作成に関わることができる。 ②食事提供に関する計画の評価、改善に取組み、全職員で評価、改善に取り組むことができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食育の計画」の意義 ・ 「食育の計画」の作成 ・ 「食育の計画」の展開と評価 			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG47-106、FG47-206）

科目名	食育の実践	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
<p>【目標】 ①課題の発見から検討、課題解決に向けた議論を施設全体で行い、効果的な指導の手法を学び、適切に選択できる。</p>			

②目的に添った指導内容を計画・立案・実践することができる。

【講義内容】

- ・ 課題の発見、整理
- ・ 指導の計画、立案、実践
- ・ 効果的な指導技術とは

【演習】

実践事例に基づき討議

福祉栄養（項目番号：FG 412-102）

科目名	地域連携①	単位数	講義 1 単位
【目標】 保護者・地域住民との関わりや地域の生産者との円滑な交流などを通して、食育の推進に共通理解を図り、協力を得ることができるよう、食育コーディネーターとしての役割を果たすことができる。			
【講義内容】 学校栄養（G412）に準じる			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG412-105、FG412-205）

科目名	関係機関・地域との連携	単位数	講義 1 単位 演習 1 単位
【目標】 ①都道府県・市町村における栄養施策、および福祉（児童福祉施策・子ども子育て会議等）の課題を把握できる。 ②地域関係機関と連携し、課題解決に向けライフステージにおける食育、利用者に応じた栄養マネジメント等を実践することができる。 ③福祉施設に勤務する職員として地域貢献に取り組むことができる。			
【講義内容】 ・ 都道府県・市町村における、健康日本 21（第二次）、第 2 次食育推進基本計画等の栄養施策 ・ 都道府県・市町村・地域における児童福祉の課題（子ども・子育てビジョン・健やか親子 21 等） ・ 課題解決に向けた、地域関係機関との連携（地域における食育活動の取組み等）			
【演習】 地域関係機関の連携による、課題解決に向けた取組みを討議			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG50-101）

科目名	医療安全管理	単位数	講義 1 単位
【目標】 ①食中毒事故・異物混入・誤配膳など様々な事故が起こる可能性を理解し事故防止のためのリスク把握と対策を知る。 ②事故が発生した場合の緊急時対応マニュアル等の整備に必要な知識を習得する。 ③院内感染による対象者への影響や医療従事者としての感染症予防のための業務上の注意点を知る。 ④日常業務の中でリスク管理ができ、安全に配慮して院内体制の構築を図ることができる。			
【講義内容】 臨床栄養（R50）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG50-102）

科目名	感染症対策	単位数	講義 1 単位
【目標】 感染症を理解し、給食管理施設における体制作りと役割を学び、感染対策マニュアルへの迅速な対応ができる。			
【講義内容】 給食管理（K50）に準じる。			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG61-101）

科目名	災害時対応	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 ①災害時防災マニュアルに基づいて、発生時における緊急行動計画や、非常時における対応が説明できる。 ②非常食に関する備えや運用について説明できる。 ③非常食の常備ができ、それらを随時活用する体制が構築できる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R61）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG61-102）

科目名	健康危機管理	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 地域の特性に応じたネットワークの構築や支援体制づくりの課題について検討し、問題解決に関わる判断能力や意思決定能力の向上をねらう。 ①災害、食中毒、感染症、飲料水汚染等の飲食に関する健康危機管理に対して、発生の未然防止、発生時に備えた準備、発生時における対応、被害回復の対応等について、関係機関と連携し支援体制が整備できる。 ②地域防災計画に栄養・食生活支援の具体的な内容を位置づけることができる。</p> <p>【講義内容】 公衆栄養（P61）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG71-101）

科目名	調査研究	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 調査研究の手法を学ぶことによって、業務の評価を明確にし、業務の質の向上を行うとともに、結果を研究発表や論文にまとめることができる。</p> <p>【講義内容】 健康・スポーツ栄養（KS71）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG72-101）

科目名	指導力の養成	単位数	講義 1 単位
<p>【目標】 実習生へ日常業務についての実務や書類の整え方についての指導方法を計画し、適切な指導を行う事ができる。また、後進に適切な指導・助言するための知識と技術を習得し、実施することができる。</p> <p>【講義内容】 臨床栄養（R72）に準じる。</p>			

福祉栄養（児童）（項目番号：FG80-104）

科目名	福祉関連法規・制度の理解	単位数	講義 3 単位
<p>【目標】 ①社会情勢の変化、根拠となる法律、社会保障制度の成り立ち等を学び、福祉の基本理念、福祉行政における福祉施設の役割を理解できる。 ②施設の目的、役割、業務内容を再確認し、制度等のこれからの動向を踏まえた業務の見直しができる。 ③福祉施設に勤務する職員として、広い視野を培うことで業務に反映することができる。</p> <p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障制度の変遷と改革の方向性 ・ 子ども子育て関連 3 法、保育所保育指針等 ・ 児童虐待、社会的養護体制の現状と今後の方向性 			